



今月のテーマ『青少年奉仕月間』

第1571回例会

2019年5月30日 Vol.33/No.43

■本日の例会 / 第1571回 令和元年6月6日(木)

- 会長・幹事報告
- 各委員会報告・各委員長
- 入会式・宮阪隆彦様
- 年間総括プログラム
- 誕生&結婚お祝い報告・フェロシップ委員会

【出席率状況報告】

- ・会員数…………… 55名
- ・出席者…………… 31名
- ・欠席者…………… 24名
- ・出席率…………… 56.36%
- ・5/16の修正出席率… 72.73%

■会長挨拶



山川 力 会長

皆さんこんにちは、お疲れ様です。今日は、真の日本人という話をしたいと思います。ビクトリア女王が出る少し前までの英国は、それはもう貧しい国で、明るい家に住むなんて贅沢だと窓にまで税をかけていた。それが植民地を広げ、資源を奪って、たちまち豊かな国になっていった。フランスもオランダも右に倣ってヨーロッパ人が過去に味わった事もない栄華に酔いしれた。そうすると白人どもは自分達こそ支配者に相応しい優れた者と思い始める。ゴルトンは白人が黄色や黒人より知的に優れた者と思い始める。折りも折り、香港でペストが流行り出した。ペストとは14世紀欧州でその人口を半減させた黒死病の事です。優秀なはずの白人達が病の原因を追及して様々な説を打ち出した。そのひとつが罹患しないユダヤ人の陰謀説だった。罹患率の低さは、彼らが旧約聖書に従い、食事の前に手を洗い、生ゴミは穴に埋める習慣によるが、優秀な白人はそれを見落とした。そしてユダヤ人が井戸に毒を入れたと結論し、欧州各地で大虐殺が繰り返された。みんな殺したのに黒死病は収まらず、ユダヤ人説は間違いと分かった。黒死病はその後17世紀にミラノとロンドンで流行り、18世紀にもマルセイユで大流行した。この間、白人学者は懸命に研究を重ねたが、何の収穫も得られなかった。それが今度は香港で起きた。白人医師はそれが欧州でなくてよかったと思うだけで、多くが傍観するだけだった。そこで北里柴三郎先生の登場です。留学先のドイツから日本に戻っていました。北里先生はそれまでの数年間、ドイツのコッホ研究所でまず破傷風菌の取り出しに成功していました。世界的な偉業だが、彼はさらに菌が出す毒素を発見。それを元に抗毒素を持った血清を作り出した。世界初の血清療法だ。彼

はジフテリア菌でも血清療法を開発した。白人が逆立ちしても敵う相手ではなかった。そこで北里柴三郎はペストが大流行している香港に入った。そこで到着数日でペスト菌を見つけ、その2日後にはネズミが媒介するのを確認。香港政府は彼の言葉に従ってネズミを駆除した結果、黒死病は収まった。白人が500年追い続けた答えを、日本人が数日間です。ゴルトンの優生学は一瞬にして色褪せていった。白人はあわててフランス人医学者サンドル、イエルサンがその思いを代表して(私もペスト菌を発見した)と北里の発見から1週間この事です。欧米医学界はイエルサン証言を検証なしで認めもう一人の発見者とした。第一回ノーベル賞候補になったそうですが、結果は白人助手フォン、ベーリングが受賞した。ここでも優生学が邪魔しております。今回北里柴三郎先生が千円札になります。大切に使いましょう。以上で会長スピーチとします。

■幹事報告

篠原英介 幹事



- ・昨年の地区大会のDVDが完成、クラブに届きました。ご覧になりたい方は事務局までお申し出ください。(2枚組)
- ・ロータリーレート 1ドル110円に変更となります。(前月まで112円)

■フェロシップ委員会報告

高野広美 委員長



6/27(木) 年度末家族懇親会を行います。多い参加をお待ちしております。  
シーガイアコンベンションセンター 18:30～

バスの利用も申し込みをして下さい

## ■第21回シーガイアトライアスロン大会 について



坂本弘史 委員長  
宮崎シーガイアトライアスロン大会は、7月7日(日)に開催予定です。開催に際しましては、毎年ロータリアンの多大なご協力をいただいております。心より感謝申し上げます。

今年も、例年通り大会会場に中央ロータリーテントを用意しており全国からご参加の選手の応援をお願いしたいと思っております。何卒よろしく願い申し上げます。

## ■第21回シーガイアトライアスロン大会 2019ボランティアについて



押川紘一郎 実行委員長  
宮崎シーガイアトライアスロン大会は本年も7月7日(日)に開催予定です。開催に際しましては、毎年ロータリアンの多大なご協力をいただいております。心より感謝申し上げます。

大会当初より継続して参りました前日、当日のボランティアについて、ご存知のようにここ数年一般ボランティアを中心にした学生ボランティアの活躍によりロータリークラブの皆様の負担軽減を行うことができました。今年に関しましては、前日の受付準備、当日のボランティア受付ともに一般ボランティアに全面的にお任せして実施する予定です。ロータリアン自らご参加いただく必要はございませんが、例年通り大会会場に中央ロータリーテントをご用意しており、全国からご参加の選手の応援をお願いしたいと思っております。

## ■会員卓話



佐藤龍三郎 会員  
今日は皆さんが記憶に残る話と、映像を見てください。

何か参考になればと思っております。

鹿児島島の知覧に昔、陸軍の特攻基地があって、私は家族、従業員、親しい人に何か感じるものがあるから行くようにいつも勧めています。皆さんも行かれていない方は是非行ってください。別にもう一つ、基地の近くの富屋食堂がそのまま今は特攻記念館になっています。そちらにも是非行ってください。

私たちは何かを忘れていないのか

たった70年くらい前、自分の為でなく、親、兄弟、子供、愛する人の為に恐怖を乗り越え、将来の夢も希望も捨て特攻で命を捧げた多くの若者がいました。

現代の日本を見ると親子での殺傷、犯罪、詐欺、

無気力、どうしてこんなに変わったのでしょうか。

知覧特攻基地の近く人に富屋食堂という食堂があって、その女主人に鳥浜トメさんという方がいました。この方は特攻に行く多くの若者がお母さんと慕って「特攻の母」と呼ばれた人です。

この方が、生き残った特攻隊員に送った言葉があります。

「なぜ生き残ったか考えなさい。何かあなたにしなければならぬ事があって生かされたのだから」

今回トメさんが残したエピソードを2つ紹介します。

1つは、特攻で出撃するたび故障で帰ってくる隊員がいました。上官や周りから卑怯者、臆病者と呼ばわりされていまして。ある日、数回目の特攻出撃の前日、トメさんに「私は明日特攻出撃するが帰ってくる」と言ったそうです。「ホタルになって帰ってくる」と言い出撃し、その夜、富屋食堂に本当にホタルが1匹飛んできてきたそうです。

トメさんは、ホタルにその隊員の名を呼びました。「本当に帰ってきたね」と。

もう1つ、知覧基地で特攻隊員に操縦技術を教えていた教官の藤井中尉がいて、若者を特攻で送り出す度に「俺もあとで行くからな」と言って送り出していました。何度か特攻に志願をしたそうですが「お前は妻子がいるから駄目だ」と断られて、遠く離れた奥さんに手紙を書きました。「私は多くの若者を特攻に送り出して申し訳ない。私も特攻出撃したいが妻子がいるからという理由で上から許可が出ない」と。

ある日、奥様から1通の手紙が彼のもとに届きました。そこには「私と子供たちは先に行くことにします。これで心おきなく特攻に行ってください」荒川に2人の子供と入水自殺をしたそうです。その後、藤井中尉は沖縄へ特攻出撃しました。

私たちは祖国の平和を願い勇敢に戦い死んでいった数多くの人がいた事を忘れていない。

最後に、特攻は実際どうだったのか。最初に特攻隊長の関大尉の話(最初の特攻敷島隊、フィリピンレイテ沖で空母に突入)日本もお終いだよ、ぼくのような優秀なパイロットを殺すなんて、ぼくなら体当たりせずとも敵母艦の飛行甲板に爆弾を命中させる自信がある。

ぼくは天皇陛下とか、日本帝国のためにとか行くんじゃない。最愛の妻のために行くんだ。

命令とあれば止むをえない、日本が負けたらアメ公に強姦されるかもしれない。

ぼくは彼女を守るために死ぬんだ。最愛の者のために死ぬ。どうだ素晴らしいだろう。

特攻志願について、多くの搭乗員達は特攻について説明を聞き、驚き、言葉も発せずに棒立ちになっていました。司令官は「いいかお前たちは突っこんで

くれるか」

反応が鈍いので大声で「行くのか、行かんのか」その声に反射的に全員が手を挙げたのです。

多くはエリート（士官）を外し、予科練の20歳前後の下士官でした。

特攻に出撃し、突入する時に「海軍のパカヤロ」と無線を使った特攻隊員がいました。

出撃前、ビール瓶を士官宿舎の窓に投げ、お前たちは一体何をやっているんだ、いま沖縄の海で戦っているのは、予備学生と予科練だけだどどなった人もいました。

一言で言うと、特攻は志願の形をした「命令」でした。具体的には紙を渡されます。それに「熱望する」「希望する」「希望せず」

その紙に署名していずれかに丸をつけて提出すると希望せずに丸をつけると次の日の訓示で全員が熱望するに感動したと言った司令官、他に呼び出しをくらい訂正させられた。

もう一つ、当時の首相の東条英機が特攻を続ける理由について、戦争は「勝つと思った方が勝つんだ」と議会で発言。国会人は拍手を送りました。

最後に私達は平和な日本で昔こんな思いで日本や家族の為に犠牲になった多くの人がいたことを忘れてはいけないと思います。

## ■会員卓話



新田敬介 会員

本日は、私の仕事に関連する事柄について話したいと思います。

現在、日本における死因は 1位・癌、2位・心筋梗塞等の心臓病、3位・肺炎となっています。

この肺炎の中でよく起こるのが、食物や唾液が原因で起こる「誤嚥性肺炎」と呼ばれているものです。

喉には食物を食べた時の通り道・食道と、息をする時の通り道・気管の2つがあります。

食物を食べた時は食道を通り胃へ、空気は気管を通り肺に行くのが正常です。それを識別して動く弁が上手く機能せず、気管に食物が行ってしまう事があり、これを誤嚥、といいます。

そこで肺炎と歯科の関係ですが、肺炎は食物だけでなく、唾液や口腔内の汚れが原因で起こる事が多いと言われています。

この肺炎を予防する為には、定期的に歯科を受診し口腔内の汚れを取ったり、歯石を取る様にしましよ

う。

また、毎日の口腔ケア（歯磨き等）が誤嚥性肺炎の予防に大きく繋がります。

年齢が上がると歯の部分だけでなく、歯と歯茎の間に付着した汚れが溜まり易くなります。

歯ブラシの使い方でも全く違って来ます。歯だけでなく、舌にも汚れが付着すると細菌の増殖により、肺炎の原因になります。舌ブラシ等で綺麗にしましょう。

最後に、日本の医療費は40兆円を超え、厚労省もその削減にやっきになっています。

近年、心臓や癌の手術の患者に、口腔ケアを行った患者の入院日数が確実に短くなる、というデータが出て来ています。

そこで医療費削減の為、歯科の重要性が見直され、医科歯科連携が更に推し進められ様としている動きは、大変喜ばしい事です。

## 出席委員会報告

日高淑晶 委員

### ◆5/16メイクアップ者名（敬称略）

黒木雄一、黒田健司、新地康宏、湯浅敏幸  
志多充吉、井上真由美、秦 喜八郎

## ハッピーボックス（敬称略）

●篠原英介…誕生いわいありがとうございます。51さいになります。

●前田剛也…日曜日の朝、結婚記念日のお花をいただいてありがとうございます。その日は美しい花を観ながら夫婦でとても幸せな気分になりました。

発行/ 宮崎中央ロータリークラブ

●事務局 〒880-0806 広島1丁目3番地3 秀豊ビル 4階 TEL.0985-22-6767 FAX.0985-22-9170  
●例会場 〒880-8545 宮崎市山崎町浜山 シーガイアコンベンションセンター TEL.0985-21-1155(毎週木曜 12:30~13:30)  
会長/山川 力 副会長/篠原英介・藤原昭公 幹事/篠原英介